

令和3年度

学校関係者評価報告書

穴吹デザイン専門学校

学校関係者評価報告書

穴吹デザイン専門学校 学校関係者評価委員会は、令和2年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので報告致します。

令和5年1月16日
穴吹デザイン専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため教育活動の観察や意見交換等を通じて、穴吹デザイン専門学校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。
委員会は、穴吹デザイン専門学校が行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 委員・教職員

(委員)

岡野 康明 段原地区社会福祉協議会 会長・松川町町内会 会長
吉村 薫 広島県立広島工業高等学校 校長
川上 佳代 有限会社コンセプトワーク 代表取締役・日本グラフィックデザイン協会 運営委員
山岡 修 穴吹デザイン専門学校同窓会 創進会
古里 ゆかり 穴吹学園保護者会 副会長

(学校教職員)

林田 正彦 穴吹デザイン専門学校 校長
尾崎 隆一 穴吹デザイン専門学校 副校長
西尾 通哲 穴吹デザイン専門学校 副校長代理・教務部部長・産学連携センター
種田 真幸 穴吹デザイン専門学校 事務局長・就職キャリアセンター部長・産学連携センター長
平田 卓也 穴吹デザイン専門学校 教務部課長

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 : 令和4年12月7日(水)15:00~17:00
開催場所 : 穴吹デザイン専門学校 A702教室

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)と財務状況の報告

当校の「教育理念」「目的」及び「令和3年度の目標と計画」について説明。保護者アンケート結果を報告し、財務状況と自己評価項目について報告。「評価結果(総括)」と「取組状況とその分析」「今後の改善方策等」について報告を行った。書式は穴吹カレッジグループ所定の書式にて実施。
各評価項目について、「A」十分である「B」おおむね十分である「C」やや不十分である「D」不十分であるの4段階にて評価。財務状況については貸借対照表と資金収支計算書により説明。適切な経理処理が行われており、財務状況の改善が継続している。

5. 報告ならびに意見交換・質疑応答

●保護者アンケート結果報告について

- ・保護者アンケートは96名から回答を頂いた。オンラインで回答を依頼したため回答が少なかつたかも知れないので次年度は改善したい。
- ・コロナウイルスの影響のため1年次はほぼオンライン授業、2年次は半分がオンライン授業となった。学外イベントも実施出来なかつたため行事に対しての満足度は例年になく低調だった。
- ・教育に関する内容と活動に関しては取り組みを肯定的に捉えて頂いている。学科ごとに違いはあるが、精神面のサポート・実習設備についても2/3が肯定的な回答を頂いている。
- ・就職支援の満足度は学科によって差がある。マンガ・アニメーション学科と商品企画デザイン学科の満足度が低い。希望する業界への就職率が結果に反映していると分析している。
- ・学校生活や行事、就職活動の状況等を共有出来る伝え方が今後もポイントである。情報伝達の方法を引き続き考えて行きたい。
- ・学生の立場に立った指導を継続するために頂いた意見を元に改善につなげたい。

《委員より学校への質問》

【岡野委員】

『学科によってアンケート結果が異なる原因はどのように考えていますか？』

- 学科を担当する教職員数に差があることが一因かも知れない。就職に対しての満足度が低い学科に対してはサポートを強化します。
- 課題が多い学科は精神的に追い詰められているかも知れない。精神面のサポートも引き続き力を入れて行きます。

【吉村委員】

『満足度が低い項目ですが、保護者がサポート内容を知らないからではないでしょうか？』

『サポートを受けているのに親に話していないことが原因かも知れませんね。保護者に対してはどのような方法で結果を伝えているのかを教えてくださいませんか？』

- 日々の出席状況については保護者にメールにて状況を送信しています。就職指導については全員ではありませんがオンライン面談や電話で報告しています。

【山岡委員】

『アンケートに回答したのは父親・母親のどちらが多いですか？』

- アンケートに記載する項目を設けていませんので結果として出て来ません。

●事業報告・財務状況報告について

- ・195名が入学し在籍数は363名。退学率は5, 2%で176名が卒業。うち156名が就職。
- ・入学生の増加傾向が続いているため財務状況も安定した状態が継続出来ている。

《委員より学校への質問》

【山岡委員】

『求人数や仕事の内容など例年と比べて変化はありましたか？』

- 求人数はコロナ前の水準となりましたが、デザイン関連の求人はDTPの求人が減少しました。代わりにweb関連の仕事が増えたことが例年にない変化でした。

【川上委員】

『漫画家のデビュー支援に力を入れていらっしゃいますが、オンライン漫画が増加していると思います。その場合もデビューとしてお考えでしょうか？』

- 漫画家デビューとして考えています。

【吉村委員】

『デザインは社会に必要な分野ですので社会のニーズがありますね。その結果が入学生数と在校生数の増加に結びついているのでしょうか。』

→ 社会のニーズに応えられる教育を目指す努力を継続致します。

『ルーブリック評価で学生の主体性を育成されていますが、今の社会で求められている教育に取り組まれている姿勢が理解出来ました。』

→ 学生には社会に必要なことを学んでいると実感してもらいながら楽しく学べるよう努力します。

【山岡委員】

『自己目標を立てて学ぶなど新しい取り組みから学んでもらおうとする狙いはありますか？』

→ 学習の成果を実感することで学生は成長しますので、成績表だけではない学習成果の見える化を探りたいと考えています。

●自己評価報告書について

自己評価報告書の理念・目的・目標・計画と総括した結果を報告したのちに、評価項目別評価結果について①～⑫までの全ての項目について取り組みと結果を報告した。委員から質問のあった項目は下記の通り。

③教育活動

【岡野委員】

『オンラインで授業を行われていますが、大手企業など在宅勤務が増えるかも知れませんね。』

→ 業界によりますが、例えばゲーム会社などは既に在宅勤務となっています。

『学校以外のコンテストなどは学生が自主的に応募しているのでしょうか？それとも学校が関わり取り組まれているのでしょうか？地域として様々なイベントがありますので協力頂きたいのですが。』

→ 自由応募と学校の指導いずれも取り組んでいます。

→ 産学連携センターを中心として、対応出来る方法で取り組めるように検討致します。

④学習成果

【川上委員】

『非認知能力の重要性を言われるようになりましたが、どのような項目があるのでしょうか？』

→ 穴吹学園全体で共通項目を作成して日々の教育に落とし込んでいます。学び続ける習慣、成長実感、自信と自己効力感を重視した教育を行っています。

⑤学生支援

【川上委員】

『在校生の何パーセントが一人暮らしなのでしょうか？』

→ 20パーセント弱です。

『一人暮らしの学生はオンライン授業の時はどこで受けたのでしょうか？自宅からですか？』

→ 正確に把握はしていませんが自宅からが多かったかも知れません。

『就職をせずに卒業していく学生はどんなタイプが多いですか？』

→ メンタルが弱い傾向で学業と就職活動の両立が難しいタイプと、卒業という区切りをつけてから就職を考えるタイプが多いです。卒業後の就職支援を継続して進路サポートを行っています。

【川上委員】

『最近の若者の傾向なのか保護者の影響なのか不明ですが、以前と比較すると新入社員のOJTがやりにくいと感じることがあります。学生指導を通じて何かヒントを頂けませんか？』

→ 毎年、学生の傾向が違うという実感はあります。これと言った有効な策をお伝えするのは難しいですが、学生の様子を観察しながら関わることを継続することが重要だと考えます。

⑥教育環境

【山岡委員】

『ノートパソコンを学生個人が購入して授業で活用されているようですが、購入しない学科はあるのでしょうか？』

→ 全学科が購入することになっています。オンライン授業を実施するためにWi-Fiの環境整備もお願いしています。

報告全体を通して

【古里委員】

『学校の取り組みをお聞きすることが出来て安心しました。学校行事についてですがコロナ以前は満足度は高かったのでしょうか？』

→ コロナ以前は学校行事に対しても満足度は高かったです。

『学科を超えた交流や学生同士の交流などはありますか？』

→ 感染防止に注意しながら出来る範囲で取り組んでいます。具体的には街かどギャラリーや放課後トークと言った取り組みです。

本日は貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待にそえますよう、頂きましたご意見を日々の教育に活かして参ります。今後も宜しく願い申し上げます。

以上